

いまや、人生80年時代 —— より充実したシルバーライフのために

夫が定年退職、 夫婦ふたりの生活費は？

退職後の人生の目標を仕事や趣味に置くにせよ、人生80年時代の今日、時間は十分に残されています。そこで大切になるのが、不安のない生活設計です。

第2の人生を充実させ満足いくものにするためにも、退職後の安定した生活資金は欠かせません。

そこで気になるのが、夫の定年後、夫婦ふたりに必要な生活費。国の機関である総務省が発表している統計資料によれば、次のようになっています。

■高齢夫婦世帯に必要な生活費

総務省の「家計調査報告」によれば、高齢夫婦世帯の1ヵ月当たりの平均的な生活費は、平成16年の調査では約25.3万円となっています。その支出の構成をみると、一番大きいのは食費の23.7%ですが、この調査報告では、住居費は約2万円しかないことから、実際に住宅ローンを組んでいる人などは、もう少し生活費が必要ながわかります。

■こんなとき、お金はいくら必要なの？

人生、いたる場面で、さまざまな出来事に遭遇します。困るのは「こんなとき、お金はいったいいくら必要なの？」という問題ではないでしょうか。冠婚葬祭や、いまはやりのカルチャースクールの費用、それにちょっとかわった資格取得の費用など、一応の世間相場を調べてみました。

結 婚 祝 い	部下(披露宴に出る場合)	3万円
	甥姪(//)	5万円
出 産 祝 い	親戚	1万円
	友人知人	5千円
入 院 見 舞 い (※病状や入院期間によって差があります)	親戚	1万円
	友人知人	5千円
お 葬 式 の 香 典	自分の兄弟姉妹	5万円
	親戚、友人知人、上司 同僚、隣人	1万円 5千円

カルチャースクール	大手カルチャーセンターの場合(東京)、入会金5千円(3年間有効)。たとえば「陶芸教室」(3ヵ月10回)で約2万5千円(別途、焼成費や粘土代等が必要)
テ ニ ス	10週10回で約2万円～2万5千円(別途、入会金等が必要)
社 交 ダ ン ス	3ヵ月12回で約2万5千円(別途、入会金、設備費等が必要)
行政書士の資格取得	通信教育の場合なら、6ヵ月で約3～6万円。専門学校なら20万円前後

以上のように、趣味や自己啓発、さらには冠婚葬祭の費用もときには必要となってくるでしょうから、もう少し余裕のある生活をしようと思えば、やはり月額30万円前後は必要になりそうです。したがって、定年後の生活原資の大きな柱となる退職金や年金について正確な知識を持つことが、余裕ある生活の第一歩になるといえます。

